

ユニオンファンド 月次レポート

第 195 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2025年2月6日作成

MONTHLY TOPIC

改めて米国株を考える

「目先の話に惑わされるな」と言われるが

皆さんが株式投資をする目的は、多くの方にとって長期の財産づくりであろうと思います。長期で株式投資するときには、目先の出来事に惑わされないようにすることが肝心だと言われます。しかし、いろいろ起こって株価が上下に揺れることが多くなると、つい気になってしまうものです。特にここ数日は米国がらみのニュースが市場を揺さぶっています。トランプ大統領が打ち出している各種の政策を見ますと、今後の世界はなかなか難しそうに思えますし、経済や株式市場に悪いことが起こりそうな気もしてきます。逆に、素晴らしい時代が来るのではないかという期待もあります。AI（人工知能）の発展で生産性が大きく上がれば経済成長率が高まるのではないかと、そうなれば株価もこれまで以上に上がるのではないかと、この考え方は、十分にありだと思います。

米国株の過去と現在

手元にある 1935 年以降のグラフを見ますと、1 世紀近くにわたって米国では経済も企業業績も拡大し、株価も上昇を続けてきたことがわかります。同じ変化率なら目盛の幅が同じになる「対数グラフ」というもので見ますと、米国企業の利益はほぼ直線的に増加してきました。もちろん途中でデコボコはありますが、その動きは非常に狭い範囲にとどまっています。他方で株価の方は、上昇トレンドの上へ下へと非常に大きく変動してきました。投資家の心理状態や行動次第で株価は実体よりも大きく押し上げられたり押し下げられたりしてきたのです。

ここ数年について言えば、経済成長率は緩やかに低下しています。にもかかわらず企業業績は高い伸びを維持しており、足元ではトレンドの上限に近い水準にあります。株価は、企業業績から見て歴史的にかなり割高と言えます。まとめれば、「経済を上回る業績の伸び率+その業績をさらに上回る株価水準」となっているとと言えます。

分散投資と長期投資の重要性が一段と高まっている

だから株価の大幅下落は近い、とは思いません。業績拡大も株価上昇も、まだまだ続く可能性はあります。しかし、絶好調が続けば続くほど、その余地は次第に限られてきます。長期のグラフを見てみると、改めてそう感じます。

米国株への集中投資は、この 15 年ほど非常に高い成果を上げました。しかし危険度も徐々に増しており、少なくとも上昇力は低下すると見ています。今後は他の市場への分散が重要さを増すでしょう。もう一つ重要なのは、長期投資をやり抜くことです。株価が大きく下がったとしても、100 年近く続いたトレンドがそこで完全に消えることはないでしょう。元に戻るのをゆっくり待つ、強い意志と忍耐力が必要となる場面もあるかもしれません。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2025年1月末現在)

基準価額

39,356 円

純資産総額

143 億 69 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	0.50%
1 年	9.43%
3 年	33.56%
5 年	57.48%
10 年	84.75%
設定来	293.56%

複利年率(%)

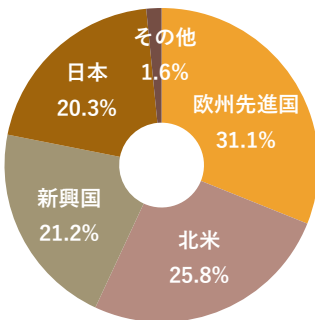
8.77%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

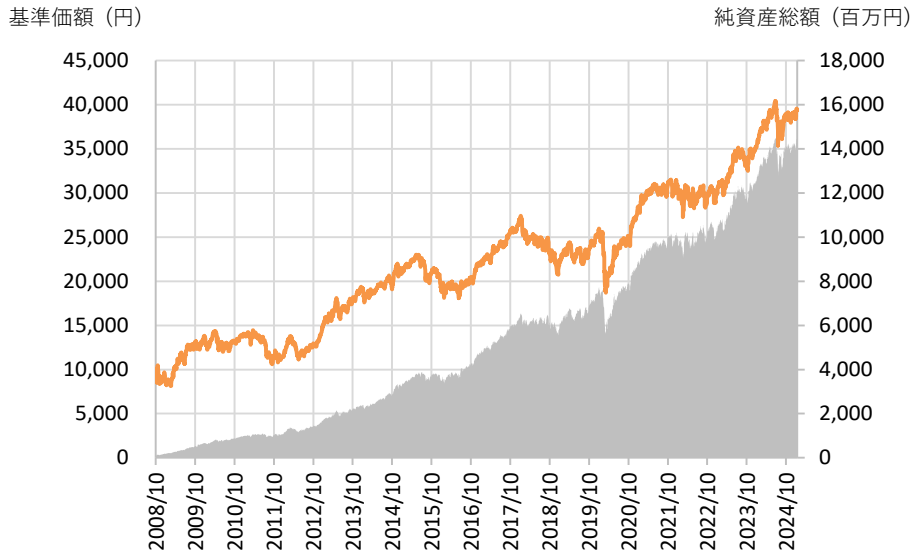
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2024年12月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.6%	-1.4%
スパークス F	日本	12.2%	-0.4%
キャピタル F	欧米	20.4%	0.8%
ハリス F	欧米	19.8%	2.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	11.9%	3.5%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.0%	-2.1%
現金等	-	13.1%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2025年1月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株価は全般に上昇しましたが、円高のため円換算の株価はやや下落しました。米国株の動きが鈍かった一方、出遅れていた欧州株が大きく上昇しました。フランスの高級ブランド企業が好決算を発表したことや、ECB（欧州中央銀行）の利下げ継続姿勢などが好感されました。ドイツ株は史上最高値の更新が続きました。

米国では、景気の堅調を示す指標が相次いだことを受けて長期金利が上昇したため、前半の株価は膠着状態でした。ただ、消費者物価の安定によって長期金利が低下に転じたことや、主要銀行の好決算を背景に、徐々に回復しました。20日には第2次トランプ政権が発足しましたが、対中国をはじめとした大がかりな関税引き上げが就任当初は見送られたことで、安堵感が広がりました。下旬には、中国の新興企業が開発したAI（人工知能）モデルのコストパフォーマンスが米国企業製をしのぐと発表されたことから、これまで市場のリード役だったAI関連銘柄が大きく売られるなど、荒れ模様となる場面も見られました。

為替市場では、米国金利の低下傾向と日本の利上げ観測から円高ドル安傾向で推移しました。日銀は利上げを実施しましたが、事前に予想されていたことから大きな混乱はありませんでした。

運用の状況

ユニオンファンドは市場の動きを上回り値上がりしました。多めに保有している欧州株の値上がり率が寄与しました。売買は見送りました。月末の組入比率は86.9%と、ほぼ前月並みでした。

今後の見通し

米国では、昨年後半に見られた景気後退懸念が消え、むしろ経済・企業業績はともに予想外に順調です。欧州では、ドイツやフランスなどで景気後退の傾向が見られますが、深刻な状態ではありません。日本の景気は、はっきりしないものの悪くはなく、緩やかですが景気拡大が続くと見られます。新興国は、米国の利下げがペースダウンすることが為替市場や金融市場にとって逆風となっています。ただ、欧米の金利がどんどん上昇する状況ではなく、経済成長率の相対的な高さも保たれていることから、いずれ評価し直される時期が来ると考えています。

米国のFRB（連邦準備制度理事会）は金融緩和を一旦停止しましたが、方向としては今後も緩やかに利下げを続ける可能性が高そうです。欧州では、インフレが落ち着いたことから、ECB（欧州中央銀行）による利下げは着実に続くと考えられています。このように、日本やブラジルなど一部に例外はあるものの、金融政策は世界的に緩和の方向でしばらく推移するとの見方が大勢となっています。

以上の通り、景気・金融の両面を見ると投資環境は決して悪くありません。ただ、注意すべき点もあります。世界の株式市場の牽引役であり続けてきた米国の株価に依然として割高感があることと、米国トランプ政権による関税をはじめとした政策の先行きが極めて不透明であることです。一時的にせよ波乱が起きる可能性はやはり残っていると見ています。当面はトランプ政権の政策を注視していく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

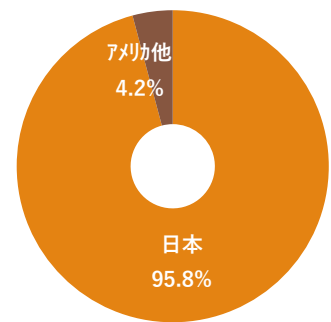
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



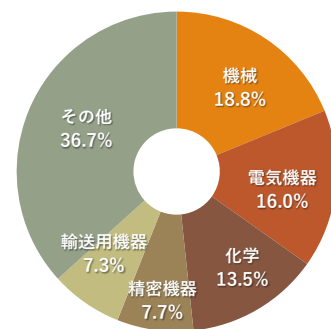
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	4.1%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	3.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 トヨタ自動車	2.8%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
5 セブン&アイHD	2.7%	日本	小売業	大手総合小売業
6 ブリヂストン	2.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
7 ダイキン工業	2.6%	日本	機械	エアコン世界大手
8 三菱重工業	2.4%	日本	機械	大手総合重機
9 日立製作所	2.4%	日本	電気機器	総合電機世界大手
10 INPEX	2.2%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
上位10銘柄	29.0%		現金等	10.4%

業種別構成比



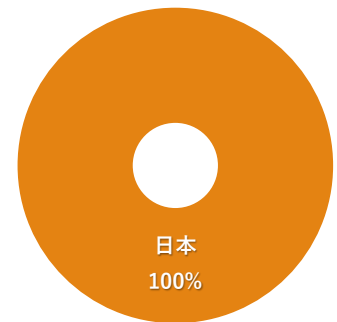
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2025年1月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



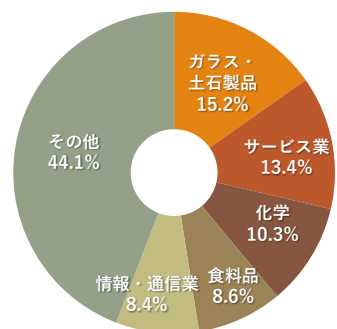
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
上村工業		日本	化学	接着剤化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステアラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金融持ち株会社
イー・ギャランティ		日本	その他金融業	売掛債権の保証・審査・分析
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
共立メンテナンス		日本	サービス業	寮事業・ホテル事業
現金等	4.8%			

業種別構成比(マザーファンド)

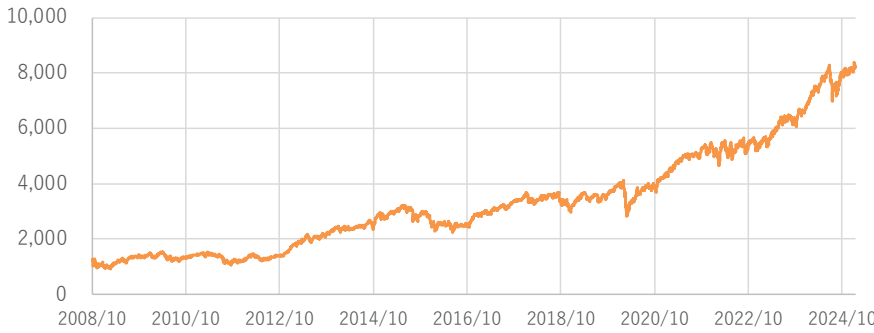


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年12月末現在 >

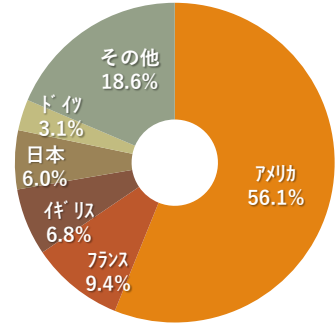
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



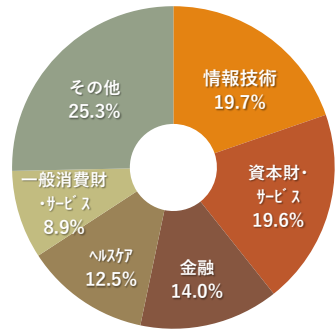
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Broadcom	3.7%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
2 Microsoft	2.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
3 Apple	2.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
4 Alphabet	2.5%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
5 Novo Nordisk	1.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
6 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 Safran	1.7%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
8 JPMorgan Chase	1.5%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
9 SAP	1.5%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
10 TSMC	1.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー
上位10銘柄	20.9%	現金等	4.1%	

業種別構成比



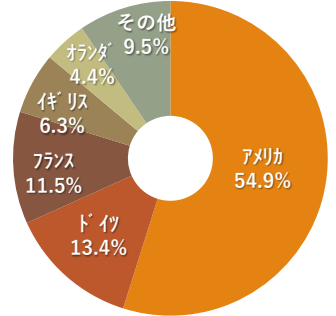
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年12月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



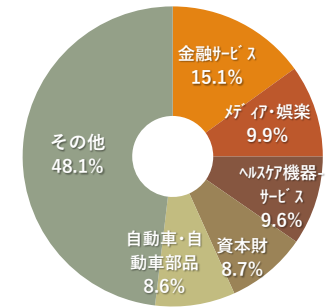
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	3.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 ALPHABET	3.5%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
3 KERING	3.4%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
4 IQVIA	3.4%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5 MERCEDES-BENZ	3.2%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 CNH INDUSTRIAL	3.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
7 BAYER	3.1%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
8 CHARTER COMMUNICATIONS	2.9%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
9 CHARLES SCHWAB	2.9%	アメリカ	金融サービス	資産運用、証券仲介、銀行業務等
10 INTERCONTINENTAL EXCHANGE	2.8%	アメリカ	金融サービス	金融取引所の大手運営会社
上位10銘柄	31.9%	現金等	3.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年12月末現在>

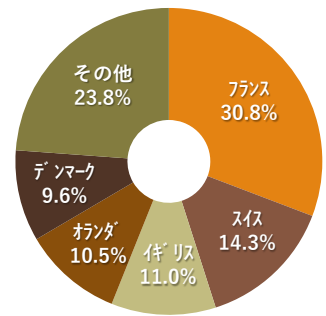
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



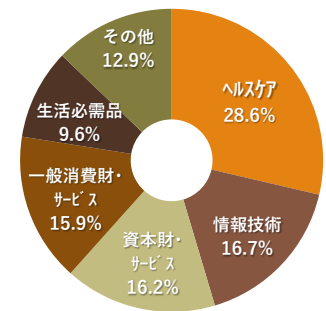
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	5.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 ESSILORLUXOTTICA	5.1%	フランス	ヘルスケア	光学製品
3 ALCON	4.7%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
4 SCHNEIDER ELECTRIC	4.7%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
5 NOVO NORDISK	4.5%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界大手
6 AIR LIQUIDE	4.2%	フランス	素材	産業ガス世界大手
7 RELX	3.7%	イギリス	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
8 DASSAULT SYSTEMES	3.5%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフト会社
9 EXPERIAN	3.4%	イギリス	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
10 L'OREAL	3.3%	フランス	生活必需品	化粧品世界最大手
上位10銘柄	43.0%	現金等	4.0%	

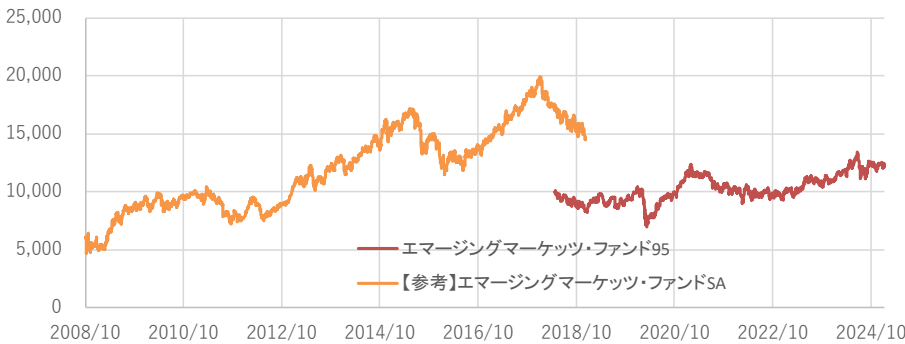
業種別構成比(マザーファンド)



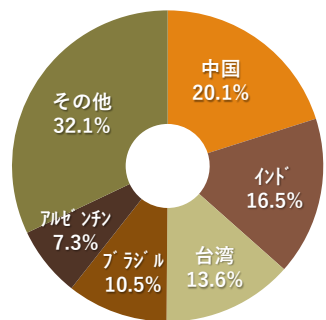
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年1月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



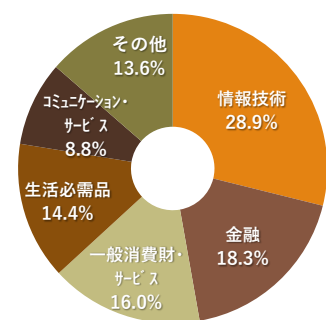
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	5.6%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	4.6%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 DELTA ELECTRONICS	4.1%	台湾	情報技術	電源、変圧器
5 WEG	3.7%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
6 ASML	3.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 DISCOVERY	3.3%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
8 MIDEA	3.2%	中国	一般消費財・サービス	家電の製造販売
9 SAMSUNG ELECTRONICS	3.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
10 Wal Mart de Mexico	3.0%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
上位10銘柄	43.4%	現金等	3.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年1月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

スポット購入について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。販売手数料はかかりません。

<当日のスポット購入のお申込みは、15時30分までに弊社でご入金を確認できたものに限ります。>

弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」は、振込みが24時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、当日15時30分までに“弊社でご入金の確認ができたもの”が当日のお申込み受付分となります。15時30分以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

- ※ 15時30分直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。
- ※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前でお願いいたします。
- ※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社よりお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」または「非課税口座【NISA口座】お客さま控え」に記載しております。（お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。）
- ※ NISA口座でお取引のお客様がNISA口座内「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の年間投資枠240万円または非課税保有限度額（成長投資枠のみでは1,200万円）を超えて購入注文された場合、超過分は課税口座（特定口座または一般口座）でのお取引となります。

月次レポート受取方法について

【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社HPで直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mailをご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、“受取方法の「E-mail」への変更”に是非ご協力ください。

- ・月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社HPに掲載の都度、メールにてご案内いたします。「不要」をご選択の場合でも、弊社HPにアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社HPの「お取引について」→「メールアドレス・月次レポート受取方法変更」にてお手続きください。

エコの観点からも印刷紙削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。